

(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■ 見守り協定を生かした高齢者の見守りに関する連携



事例1

配達時、いつもはインターフォンを押すと鍵を開けるのですが、その日は「鍵は開いてる…」との声が聞こえました。ドアを開けたところ、組合員さんが玄関で具合が悪そうにされており「救急車を呼んでほしい…」とのことでしたので、すぐに救急車を呼びました。2日前にトイレで倒れられ、飲食されていなかったそうです。同時刻に他の業者さんが訪問されていたそうですが、不在連絡票を置いて行かれただけだったそうで、気が付いて良かったです。



人命救助 (地域見守り)

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
件数	4	5	5	8	9	20	21	19
表彰人数	4	5	5	10	9	20	26	21



福岡県との「見守りネットふくおか協定」をはじめ県内の市町村と事業所で「地域見守り協定」を締結しています。



年々、見守り件数が増え、事例共有がなされることもあり、勇気を持った一歩が垣間見られます。

(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■ 事業所スタッフが青パト (青色回転灯防犯巡回車) で巡回



企業等が青パトで地域貢献

地域防犯パトロールカーは通称「青パト」と呼ばれ、小学校の登下校時や夜間パトロールなどの防犯活動の際、地域住民に利用されています。

区内の企業等も、青パトを通じて地域貢献活動を行っています。

◇パトロールのお手伝い

エフコープ生活協同組合は、野多目校区で青パトに乗ってパトロールをお手伝いしています。乗り手が不足していた同校区の状況を知り、地域の力になりたいと9月からパトロールを始めました。

エフコープの吉武ちか子さんは「地域防犯の取り組みに貢献できて良かったです。すれ違う小学生が笑顔で手を振ってくれてうれしかったです」と笑顔でした。



協定とは別に福岡市南区では区役所のコーディネートにより、地域の困りごととエフコープの強みをマッチングいただき「青パト」への協力ができています。



(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■ 配達スタッフが移動基地局となっています

福岡市では、子どもの安全確保のため、IoTを活用して、地域とともにネットワークをつくり、社会全体で子どもの見守り事業（通称：オッタバイ）を強化しています。エフコープは、福岡市内の配達を管轄する5支所（城南・早良・糸島・志免・新宮）のスタッフ約230名の業務用スマートフォンに、見守り人アプリをダウンロードしており、福岡市が小学生を対象に配付している見守り端末機に反応する移動基地局の役割を持たせており、毎月3,000件を超える記録実績があり、子どもの見守りに貢献しています



otta[®]
見守り人アプリ



児童が身に付けている端末機



見守りアプリ画面



これも協定とは別に、福岡市南区では区役所のコーディネートにより、地域の困りごととエフコープの強みをマッチングいただき「児童見守り」への協力ができています。

(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■ 消費者被害防止チラシの配布や詐欺被害防止学習会の開催



「令和2年7月豪雨」の際には消費生活センターからの消費者被害への啓発チラシを同封し、被災地域（筑後地域）を中心にタオルを配付しました。

(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■北九州市消団連とのとりくみ

- 北九州市消団連とは
- 【主な概要】

正式名称は「北九州市消費者団体連絡会」と言い、1974年に第1回北九州消費者大会を開催したことに始まり、その後毎年、消費者大会を開催するとともに電気料金や公共交通機関の料金の値上げ反対、冷房バス路線の新設などの要望を行い、実績をあげてきました。そのような経過を経て、消費者運動をさらに発展させていくためには、恒常的な組織が必要との気運が高まり、1979年に九州では3番目の消費者団体連絡会として発足し、これまで活動を続けています。「暮らしと健康をまもりましょう」がそのコンセプトになっています。

エフコープも前身の北九州市民生協時代より参画しており、現在は**北九州市消団連常任幹事をエフコープ組合員理事が務め、同事務局長をエフコープ（組合員活動部）スタッフが務めています。**

【構成団体（幹事団体）】

エフコープ生活協同組合、北九州市生協労組懇談会、北九州市立大学生生活協同組合
北九州母親大会連絡会、九州工業大学生生活協同組合、健和会労働組合
自治労連北九州市職員労働組合、新日本婦人の会、徳力団地自治会

※上記9団体から代表1名（幹事）が選出・派遣され、幹事会を構成しています。
現在の代表幹事は九州工業大学生生活協同組合専務理事が担っています。

(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■北九州市消団連とのとりくみ

「福岡県内市区町村地方消費者行政調査」

エフコープの組合員活動組織の「ブロック活動委員会」のうち、北部ブロック活動委員会と中部ブロック活動委員会では、北九州市消団連に一般社団法人 全国消費者団体連絡会から呼びかけのあった、「福岡県内市区町村地方消費者行政調査」に関する活動を、各々ブロック内の市町村に訪問調査を中心に活動を行いました。

ブロック活動委員会はその役割に、「行政や地域の諸団体および組合員活動とのネットワークを活かした活動を進める」とあります。テーマがなく行政を訪れるということは極めて難しいことですので、このような形で双方にとっての存在意義にもつながる調査訪問活動は大変意義があり、「足で稼ぐ」活動は地域の小さな状況をも垣間見えたとりくみとなりました。

発足初年度ともなった2018年度からとりくみをはじめ、2019年度と2年間とりくみを行っています（2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で組合員活動が中止となったため、行っていません）。

2019年度消費者行政に関するアンケート
(福岡県内市区町村版)

北九州市消費者団体連絡会
エフコープ生活協同組合

2019年度市区町村消費者行政調査

調査実施数：40
回収率：46

【調査対象】

市区町村	福岡市	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町

Q1. 2019年度に消費者行政を担っている部署を教えてください。

市区町村	福岡市	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町
糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町	糟粕川町

(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■北九州市消団連とのとりくみ 「北九州消費者大会」への実行委員会団体として参画

- 「北九州消費者大会」とは生協や女性団体、労働組合、住民団体など、さまざまな消費者団体が「暮らしと健康を守るため」に年に一度集まり、連帯の輪を広げるついでです。
- エフコープは、北九州市消団連幹事団体の一つとして、実行委員会に参画しています。



2019年度憲法「檻の中のライオン」

⇒過去3回分のパンフレット表紙

(7) 環境に関すること

■フードロス削減・フードバンクとの連携



店舗でのフードドライブの様子



広報むたかたでフードバンク協議会の紹介



2020年12月より、「フードバンク活動支援システム」の稼働が始まり、寄贈食品のトレーサビリティなどが可能となりました。詳しくは、下記二次元コードから福岡県のHPをご覧ください。



2016年以降、県内のフードバンクに寄付された商品の保管など食品ロス削減にむけたサポートを行っています。2019年には「一般社団法人福岡県フードバンク協議会」へ参画し、フードバンク活動の普及・促進に取り組んでいます。